

新潟工科大学産学交流会
令和7年度「会員ニーズ調査」実施結果

1. アンケート実施方法

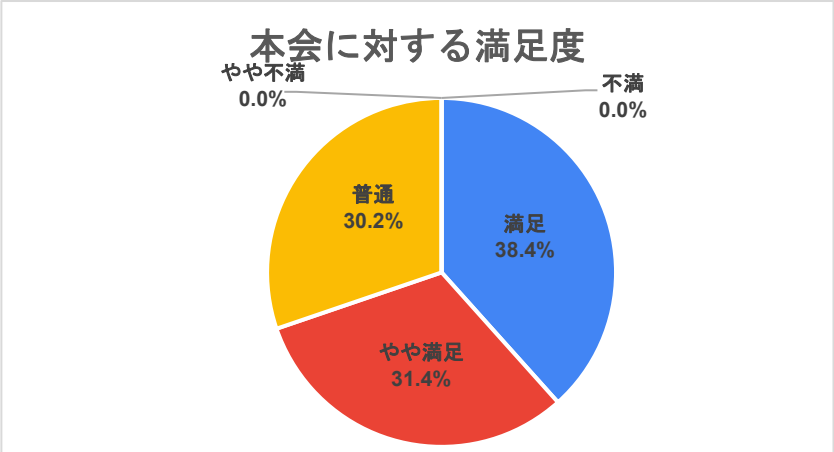
- (1)回答期間：令和7年7月23日（水）～8月29日（金）
- (2)依頼対象：産学交流会会員企業337社（7/23時点）
- (3)依頼方法：メール（メーリング登録会員）
- (4)回答方法：インターネット回答（Google Form）

2. 回答数：86社（回答率 25.5%）

以下、アンケート質問に対する回答「本会に関すること」

（1）本会に対する満足度をお答えください。（5段階評価）

項目	回答数	
満足	33	38.4%
やや満足	27	31.4%
普通	26	30.2%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	86	100.0%

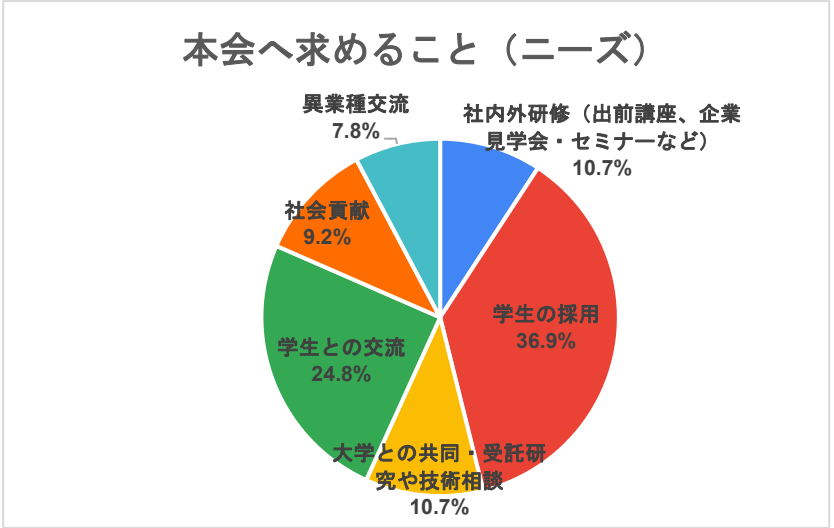


《「2(やや満足)」又は「3(普通)」と回答された理由》

- ・在学生との交流が定期的にあるため
- ・入会して間もないため、「③普通」とさせていただきました。

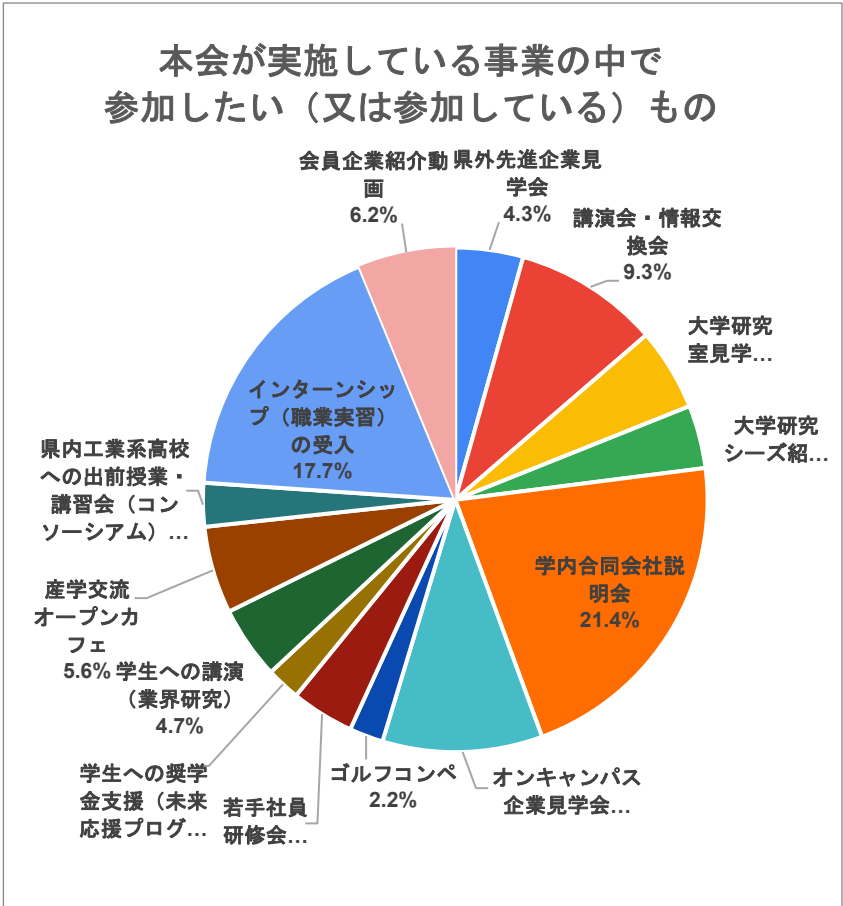
（2）本会へ求めること（ニーズ）をお答えください。（3つまで回答可）

項目	回答数	
社会貢献	19	9.2%
学生の採用	76	36.9%
大学との共同・受託研究や技術相談	22	10.7%
学生との交流	51	24.8%
社内外研修（出前講座、企業見学会・セミナーなど）	22	10.7%
異業種交流	16	7.8%
合計	206	100.0%



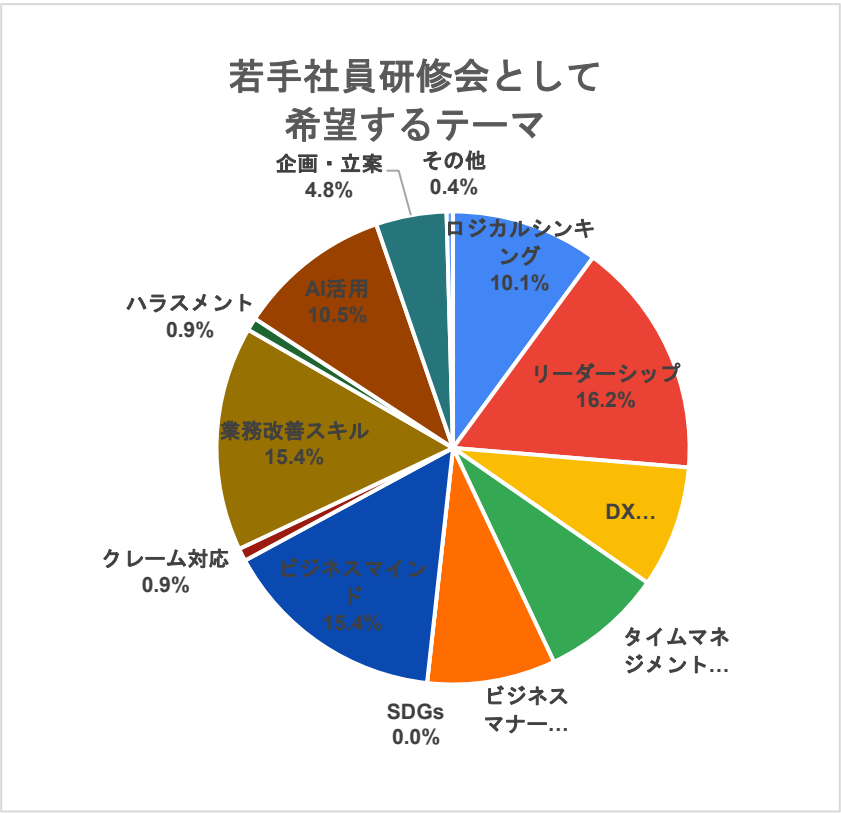
(3) 本会が実施している事業の中で、参加したい（又は参加している）ものをお答えください。
（該当するもの全て選択）

項目	回答数	
県外先進企業見学会	14	4.3%
講演会・情報交換会	30	9.3%
大学研究室見学会	17	5.3%
大学研究シーズ紹介	13	4.0%
学内合同会社説明会	69	21.4%
オンキャンパス企業見学会	33	10.2%
ゴルフコンペ	7	2.2%
若手社員研修会	13	4.0%
学生への奨学金支援（未来応援プログラム）	7	2.2%
学生への講演（業界研究）	15	4.7%
産学交流オープンカフェ	18	5.6%
県内工業系高校への出前授業・講習会（コンソーシアム）	9	2.8%
インターンシップ（職業実習）の受入	57	17.7%
会員企業紹介動画	20	6.2%
合計	322	100.0%



(4) 令和5年度から若手社員（概ね入社5年未満）の相互交流・教育を目的に
「若手社員研修会」を開催しています。
「若手社員研修会」として希望するテーマをお答えください。（3つまで回答可）

項目	回答数	
ロジカルシンキング	23	10.1%
リーダーシップ	37	16.2%
DX	19	8.3%
タイムマネジメント	19	8.3%
ビジネスマナー	20	8.8%
SDGs	0	0.0%
ビジネスマインド	35	15.4%
クレーム対応	2	0.9%
業務改善スキル	35	15.4%
ハラスメント	2	0.9%
AI活用	24	10.5%
企画・立案	11	4.8%
その他	1	0.4%
合計	228	100.0%

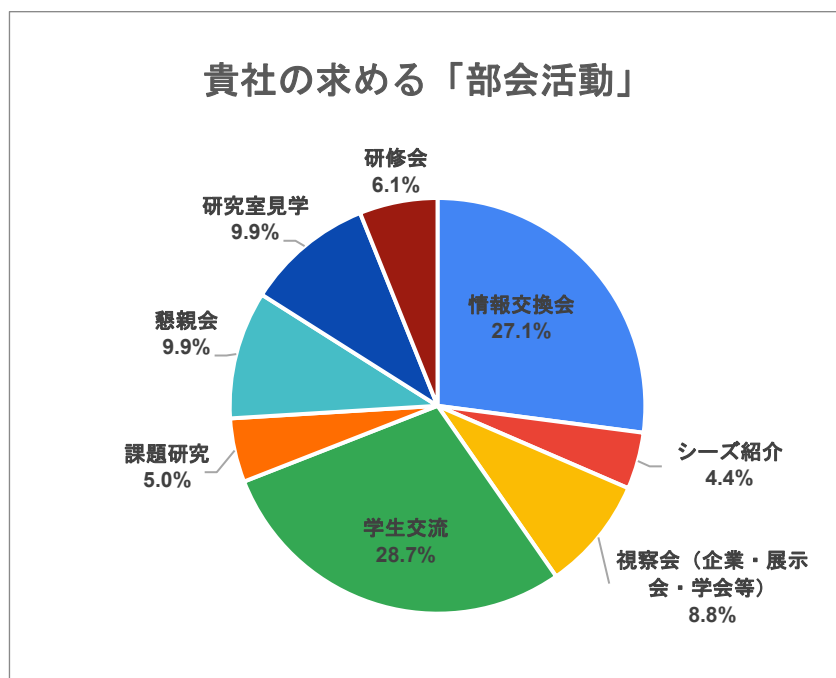


《その他》

・顧客だけでなく、職場の先輩・同僚や、取引先の方に対して、返事や挨拶、質問・報告・相談といったコミュニケーションを、普段から日常的にできるような教育を希望します。

(5) 昨年度、業界・学系ごとの産学交流及び連携促進を目的に、新たに4つの「部会」(機械システム部会、情報電子部会、食品・環境化学部会、建築都市部会)を設置しました。貴社の求める「部会活動」をお答えください。(3つまで回答可)

項目	回答数	
情報交換会	49	27.1%
シーズ紹介	8	4.4%
視察会(企業・展示会・学会等)	16	8.8%
学生交流	52	28.7%
課題研究	9	5.0%
懇親会	18	9.9%
研究室見学	18	9.9%
研修会	11	6.1%
合計	181	100.0%



(6) 貴社の企業課題を教えてください。(自由記述)

- ・新卒採用
- ・採用、生産性の向上
- ・若手社員の育成、技術力の深化
- ・新卒採用について合同説明会→会社説明会→採用試験→内定という流れが完全に潰えました。インターンシップ→内々定という流れに完全に乗り遅れています。(そういった中で貴学とご縁があることは大変ありがたいと感じております。)
- ・産業機械組立が非常に好調にて人材拡充を進めておりますが、新人の人材定着、戦力化に課題があります。
- ・センサーのアッセンブリ事業に従事する社員の高齢化が進んでいます。定年後は嘱託に切り替わって就労いただいておりますが、数年後を考えた時の人材確保、省人化を進める必要があります。
- ・技術者の人材不足
- ・採用・DX化・販売促進
- ・採用
- ・新卒の人材確保(インターンシップへの集客や選考に繋げることに苦戦しております)
- ・採用(特に新卒)
- ・生産性向上
- ・経営幹部採用
- ・人材の採用と育成
- ・現業部門に於ける後継者不足
- ・新卒採用について応募者の減少
- ・人員不足
- ・求職者が来ない。
- ・新規顧客開拓、新規事業開拓
- ・認知度の向上
- ・採用 DX
- ・人材不足、社員の高齢化
- ・次世代リーダーの育成
- ・既存市場や既存業態外での営業活動
- ・継続的な新卒雇用
- ・商品開発をするための調査研究ができる人材と、現場労働力が足りていないこと。
- ・企業体質の変化 新製品アイデアの発掘

- ・新潟地域における大学新卒採用がうまくいっていないこと。
- ・若手採用難
- ・新卒採用を増やす
- ・技術系学卒社員の採用が出来ていないこと
- ・人材不足、品質向上など
- ・更なる売上UP、成長
- ・人材確保と現社員のスキルアップ・リスキリング
- ・新製品開発、既存製品の用途拡大、環境負荷低減
- ・エンジン駆動機械の電動化などにおける電気・プログラミング等の技術者に不足。
- ・建設産業の人手不足や長時間労働を改善策
- ・人材不足
- ・デジタル化、電子化、生産性の向上、不良・トラブルの未然防止
- ・新潟県内での地元人材の採用
- ・若手社員のリーダーシップ
- ・会社を発展させる人材の不足（経営企画・IT・工程設計・生産技術）
- ・ドローンを活用した消防点検業務（熱感知器、煙感知器）の効率化
- ・若手の採用と育成
- ・技術の伝承と雇用
- ・後輩に仕事を教える意識・オペレーション構築ができていない
- ・次世代技術者の育成・総合職の育成
- ・新卒採用難が課題でございます。
- ・理系学生の採用が難しくなっている。
- ・受託開発からの脱却（ビジネスモデル変革）
- ・人材育成、生産性向上
- ・作業員の高齢化

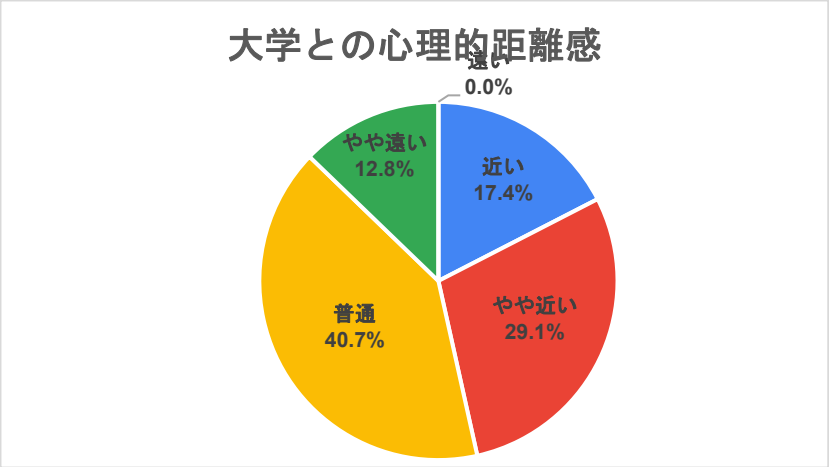
（7）本会で新たに取り組んでほしい事業、ご意見・ご要望等ございましたら自由にお書きください。（自由記述）

- ・学内合説の実施方法が変わり、以前より多くの学生が企業ブースに来てくれるようになりました。引き続きよろしくお願いいたします。
- ・キャリアパス以外に、就活当該学年に限らない低学年からのキャリア育成に関連する学生との関わりを増やして頂きたい
- ・校内合同企業説明会をやってほしい
- ・学生の取り組みを聞く機会（金沢工業大学さんのステークホルダー交流会のようなイメージ）
<https://www.kanazawa-it.ac.jp/company/stakeholder-top.html>
- ・インターン以外での学生との交流
- ・学生向けの会社紹介の機会を設けてほしい。
- ・いつも学生との交流の場を設けていただき、誠にありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。
- ・学内インターン事業はいい事業だと思いました。一部の上級生しか考えていない状態になってしまうので、学年を決めて、必修にしたほうがいいと思います。
- ・当社の積極性が足りていないのは重々承知しておりますが、地元就職先として学生様をご紹介いただける機会をもう少しお与えくださいましたら幸いにございます。
- ・学生さんとの交流
- ・学生との接点を増やしていただきたい。企業見学等
- ・学生との交流イベントの開催
- ・いつも様々なイベントを開催ありがとうございます。今後よろしくお願いいたします。
- ・学生と若手社員の共同(企業)課題解決実習
- ・既にお取り組みいただいていると存じますが、地場産業の魅力等、学生様に感じていただける機会を作っていただけますと幸甚です。

以下、「大学に関すること」

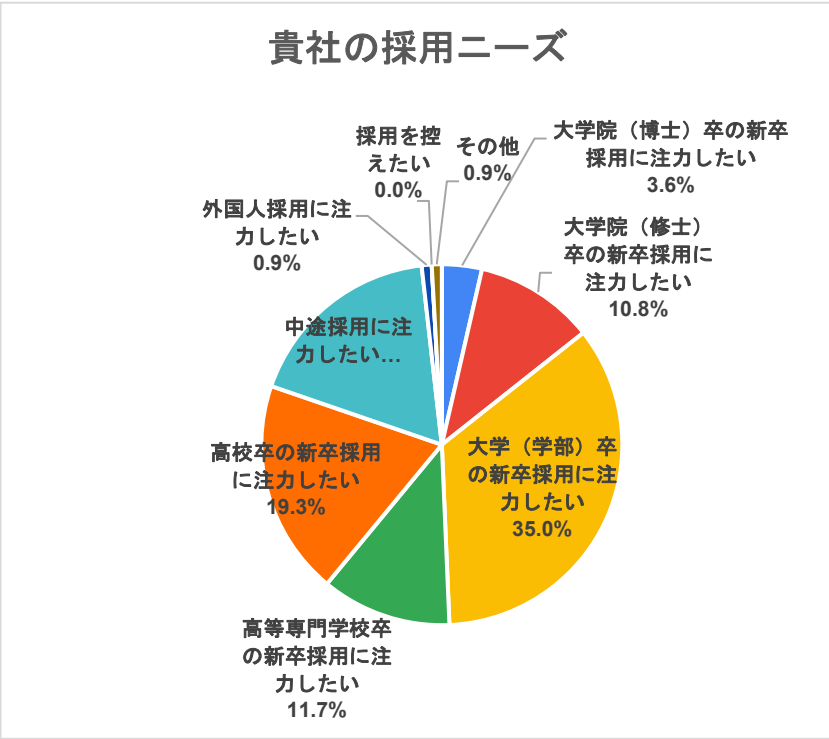
（１）貴社と大学との心理的距離感についてお答えください。（５段階評価）

項目	回答数	
近い	15	17.4%
やや近い	25	29.1%
普通	35	40.7%
やや遠い	11	12.8%
遠い	0	0.0%
合計	86	100.0%



（２）貴社の採用ニーズについてお答えください。（３つまで回答可）

項目	回答数	
大学院（博士）卒の新卒採用に注力したい	8	3.6%
大学院（修士）卒の新卒採用に注力したい	24	10.8%
大学（学部）卒の新卒採用に注力したい	78	35.0%
高等専門学校卒の新卒採用に注力したい	26	11.7%
高校卒の新卒採用に注力したい	43	19.3%
中途採用に注力したい	40	17.9%
外国人採用に注力したい	2	0.9%
採用を控えたい	0	0.0%
その他	2	0.9%
合計	223	100.0%



《その他》

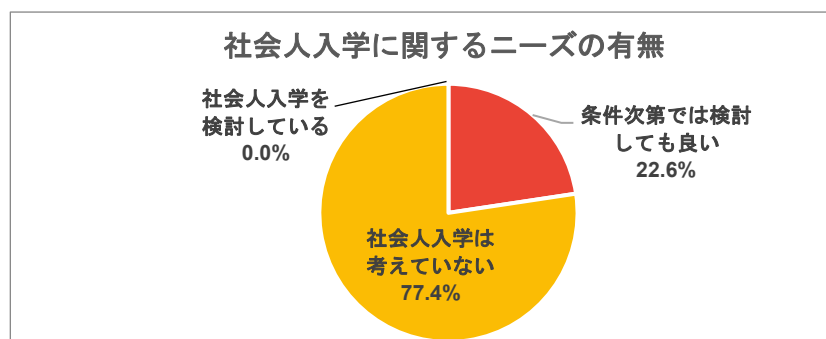
- ・良い人材であれば新卒・中途・性別・国籍に関わらず採用したい。
- ・⑧以外。全て募集しています

(3) 大学への入学者(学部・大学院)拡大に繋がるアイデアがございましたらお聞かせください。(自由記述)

- ・小学生・中学生へのものづくり教育・アウトリーチ活動を徹底し、ものづくりの楽しさ・知見・マインドを低年齢層へ刷り込む必要があると思います。
その活動の過程で宇宙→地球→現代社会→私たちの暮らし→暮らしを支える産業とスケールダウンしていき、文系理系問わず工学の方向へ誘うことが大事かと思います。
- ・一定期間の他大学との交換学生制度、高校生のインターンシップ受け入れ
- ・オープンキャンパスなどの受け身ではない、在校生による小中高各学校への出前授業など
- ・県内企業とのつながりが強いということをもっとアピールできれば良いのでは。勝手言ってすみません。
- ・公立化・共通テスト6教科入試(合格者は学費免除または国立並にする)・理系3教科入試
- ・東京での学校説明会
- ・留学環境がある、資格取得、高いレベルの学問が学べる
- ・ASEAN,等海外大学提携大学から一定の条件をクリアした外国人学生の3年生等編入受け入れ
- ・出張型オープンキャンパス(学外、県外で開催するオープンキャンパス)
- ・充実したカリキュラムの提供、地域と密着し、地域が抱える課題解決に資する研究
- ・企業に寄付を募り、その返礼のような形で学生との交流の機会等を設ける
- ・建築士の資格を社会人になる前に取ってしまう学生が増えていると聞きます。資格の取得についての支援事業や授業、特別講習を行うというのはどうでしょうか。「スキルアップに強い大学」
- ・専門高校との連携による共同研究や授業 教授らによる出前講義など
- ・柏崎市内の店舗で使えるクーポン等を学生に配布する。
- ・「学食無料」はいかがでしょうか？
- ・差別化された御校にしか無い学びの場(魅力)の広報活動
- ・オンライン授業等、通学負担の軽減
- ・卒業生インタビューなどで、学んだ知識を実際に社会に出てどのように活かしているかのイメージを沸かせる。
- ・県内には貴学も含め建築を学べる学校は複数ありますが、土木を先行できる大学専門学校はほぼありません。土木業界では非常にニーズが多く最近は待遇面でもかなり良くなっていることから土木学科の設立は入学者の拡大に寄与するものと思います。
- ・大学在学中と卒業後のメリットをアピールする
- ・近郊の高校生と新潟工科大学生の交流があると良いと思います。
- ・人は二足歩行が可能になり、手が自由に使えるようになり、たくさんの物を創生してきたすばらしさを改めてお伝えいただきたいです。
- ・外国籍の学生への補助(資金面含め)よりも国内・県内学生への補助を手厚くする。

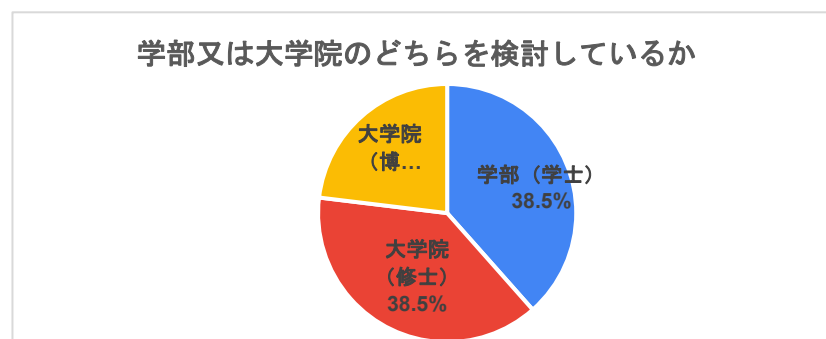
- (4) 近年、企業に籍を残したまま社員を大学に通わせ、専門知識を学ばせる「社会人入学」が注目されており、本学も学部生及び大学院生の「社会人入学」を受け入れております。特に大学院は、会員企業の従業員であれば入学金免除と授業料半額免除に加え、夜間や休日の授業や研究指導等、仕事と学び、研究とを両立しながら学位を取得できる受け入れ体制を整えております。
- 貴社の社会人入学に関するニーズの有無についてお答えください。(1つだけ回答)

項目	回答数	
社会人入学を検討している	0	0.0%
条件次第では検討しても良い	19	22.6%
社会人入学は考えていない	65	77.4%
合計	84	100.0%



- (4) -1 「①社会人入学を検討している」とご回答された方は、学部又は大学院のどちらを検討されていますか。(1つだけ回答)

項目	回答数	
学部（学士）	5	38.5%
大学院（修士）	5	38.5%
大学院（博士）	3	23.1%
合計	13	100.0%



- (4) -2 「②条件次第では検討しても良い」とご回答された方は、ご希望の条件をお聞かせください。(自由記述)

- ・通信制
- ・学部の社会人入学に対する学費減免（半額等）
- ・夜間・休日の授業やリモートでの事業などの体制西部
- ・認識が浅く即座に条件を示せません。申し訳ございません。
- ・学費免除や通信教育等
- ・金額や時間次第です。
- ・休日における授業研究体制の整備
- ・学部の社会人入学に対する学費減免（半額等）、夜間や休日などの授業体制の整備など
- ・企業側の理解促進（勤務上の配慮）が課題と感じています。
- ・授業体制の整備、通学条件
- ・オンライン配信などの
- ・長期履修制度やオンライン授業などの学びが負担になりにくい制度設計が必要と思います。
- ・学費および履修期間
- ・時間
- ・費用面（学費免除）と時間（授業体制）に融通がきけば

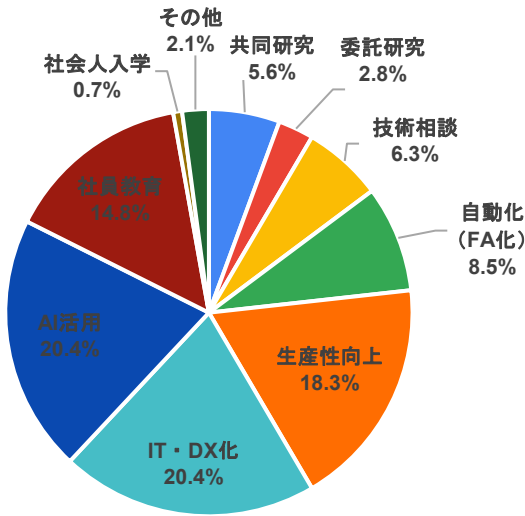
(5) 大学では、「学内企業インターンシップ」(正課)として、1～4年の学部生が5～8名のグループを作り、企業から示されたテーマ(企業課題等)に取り組む、産業界と連携したカリキュラムを実施しています。学生に取り組んでもらいたいテーマや課題等がございましたらお聞かせください。(自由記述)

- ・ 人手不足の解消策
- ・ 建設現場での熱中症対策、遠隔現場管理
- ・ DX化、学生が魅力を感じられる企業の打ち出し方
- ・ 1、オフィスリデザイン(当社事務所内) 2、当社認知度(知名度)アップへの施策
- ・ AIを活用したテーマ
- ・ 学生目線からの企業PR
- ・ ゼロエネルギービル(ZEB)や再生可能エネルギーを活用した建築の提案。災害避難所としての建築施設設計。
- ・ 企業価値を高める方法
- ・ 建設産業へ興味・関心を持つには、どのような取り組みが有効か
- ・ 昨年担当させていただき、発泡スチロールを使った新商品開発を課題とさせていただきました。
- ・ 柏崎市の魅力を全国に広める。
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に向けた技術的取り組みの検証
- ・ 表面処理に関心をもっと持っていただけると、製造業ではもっと生かせるのではないのでしょうか。
- ・ 万能製袋機
- ・ 既存製品の用途拡大
- ・ 学生から見た働きやすい、就職したいといった職場の提案など
- ・ 社内帳票等の電子化
- ・ 冬季のコンクリート金罎仕上げ時間の短縮ができるコンクリートの研究
- ・ 工程設計によるコスト削減
- ・ 採用用企業ブランディング構築
- ・ 地方の企業(特に中小企業)が悩む、人手不足(労働生産性低下)の課題について

(6) 企業課題への取組みなど、大学に相談したいことがございましたらお答え下さい。
(該当するもの全て選択)

項目	回答数	
共同研究	8	5.6%
委託研究	4	2.8%
技術相談	9	6.3%
自動化（FA化）	12	8.5%
生産性向上	26	18.3%
IT・DX化	29	20.4%
AI活用	29	20.4%
社員教育	21	14.8%
社会人入学	1	0.7%
その他	3	2.1%
合計	142	100.0%

大学に相談したいこと



《その他》

- ・知名度で大手に劣後する中小企業が、自社をPRする有効手段は何か

(7) 他大学との産学連携の取組みや、成功事例等がございましたら教えてください。
(自由記述)

- ・長岡造形大学の准教授と卓上スイス式旋盤の開発を行いました。
- ・3Dプリンター等の高度先端技術 産学提携（長岡技大）当社製品に用いる重要部品の共同開発（長岡高専）もちろん貴校との連携で成功した事例もございます（現在進行中です）
- ・学校を限定したインターンシップ（会社見学の実施）
- ・新規開発の共同研究
- ・東京都市大学：売れるホームページ作成支援、工学院大学：児童相談AI機能開発
- ・協同研究
- ・救急医療分野での当社製品の活用（硬質繊維ボード）
- ・過去に実績はありません
- ・2025年度より受け入れを実施いたします。成果をご報告できればと思います。

(8) 大学で新たに取り組んでほしい事業、ご意見・ご要望等がございましたら自由にお書きください。(自由記述)

- 地元企業としては、高大産官連携事業として新たな施策を打てると良いですが、それ以前に現行実施の事業認知が深化していないとも考えます。それらを知って貰うイベントも必要と考えます。
- 貴校への理解を深めるために、オープンスクールに参加できたら良いなと思っておりました。
- 第二新卒と企業とのつながりを持たせてもらいたい
- 毎年、学内企業説明会から弊社の採用選考に応募して下さる学生が多数おられ、感謝しております。今後も多くの学生の皆さんからご出席頂けます様をお願い致します。
- 新しい取り組みよりも事業の密度や精度を上げてほしい
- 1・2学年時からのインターンシップを開催し、学生との交流を増やしてほしい。
- KSK(柏崎IT・ソフトウェア産業協会)との連携事業 例:学生&企業アプリコンテスト等
- 学生と交流できる機会を期待します
- 原子力発電に関わる事業等
- 土木系の学部を創設してもらいたい。
- 当社は貴校卒業生が7名在職(2005年卒~2014年卒)しており、皆さん大変活躍されております。ちなみに、離職率は0%です。今までは、発電所関連事業の特異性もありインターンの受け入れは控えておりましたが、今後は新しいアイデアで貴校学生様と交流の機会を設けさせていただけるよう取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続きまして何卒よろしくお願い申し上げます。
- 課題を解決する力、考え方
- メルマガによる情報共有や直接訪問した時の情報交換など、丁寧にご対応いただき助かっております。今後ともよろしくお願いいたします。
- 学生との交流など、認知度向上に向けた事業等があれば参画したいと考えております。

以上